

~目次~

税理士上田のご挨拶

税理士上田のご挨拶

「新年度のスタート」

旬の話題

お客様訪問日記

Surplus~サープラス~

お仕事仲間

ほっと一息

南船場から

編集後記

皆様、こんにちは。
街のあちこちで、満開の桜を見ることが出来る時期になりました。やっぱり、春はいいですねえ。桜を見ると、何とはなしに、気分が良くなるように思います。
そして、4月といえば新年度のスタートの月です。通勤電車で、新社会人らしき人を見かけると、自分が30数年前に社会人の一歩を踏み出したときのことを思い出し、気持ちを新たにしている今日この頃です。
さて、今月は、特別に皆様にご報告したい、うれしい事があります。
2年前からスタッフとしてがんばってくれている吉田君が、4月1日に税理士の認証式を終了しました。晴れて、「吉田公彦税理士」の誕生です。
上田税理士事務所にとって、初めての登録者ということもあり、大変うれしく思っています。
また、今月の8日には、新事務所での業務が開始します。
税理士2名となった新たな体制で、複雑化する毎年の改正税制への対応、タイムリーな情報提供、有益なご提案など、お客様へのサービス向上に、スタッフ一同、気持ちを新たに取組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。
皆様におかれましては、季節の変わり目ですので、くれぐれもご自愛ください。

平成25年4月1日(月) 税理士 上田 兵二

~税理士吉田のご挨拶~

上田税理士事務所入社から2年、この度無事に税理士登録をすることができました。これもひとえに皆様の日頃からのご指導、ご鞭撻の賜物と感謝するとともに、この場をかりて御礼申し上げます。
先日、税理士になる際のセレモニーで「証券伝達式」というものに参加してきましたが、折しも新年度初日、桜はほぼ満開で天気もよく、昔の入学式が思い出されました。社会人となってからは、このような節目の場面に会うことも少なかったため、気持ちを新たにすよい機会となりました。一層重くなる責任を自覚しつつ、関与先の皆様、そして社会のために貢献できる税理士を目指して日々精進していきたいと思っております。今後とも宜しくお願い致します。

平成25年月1日(月) 税理士 吉田 公彦



旬の話題

「教育資金の一括贈与に係る贈与税の非課税措置」が新設されました。

編集担当:岩岡 信介

この制度は、先般の税制改正にて、平成25年4月1日から平成27年12月31日までの間に、お孫さんへの教育資金として金銭を一括で贈与された場合に、通常であれば110万円を超える金額については、贈与税の課税対象となりますが、要件に適合すれば、1500万円までの金額が非課税となる制度です。

適用を受ける要件として、お孫さんの年齢が30歳未満の方が対象で、学校の授業料であったり学校以外の習い事でも活用することができます。(学校以外の場合は、500万円までが限度となります。)

手続きとしましては、受け取るお孫さんがこの特例を受けようとする旨を記載した教育資金非課税申告書を金融機関経由で、納税地の税務署へ届出する必要があり、実際に払い出しをする時は、領収書等を金融機関へ提出し払出しをしてもらい教育資金として使っていただきます。

最終的には、お孫さんが30歳になった時点で、一括贈与資金の中から、実際に教育資金としていくら使用したかを税務署へ調書を作成し、提出します。もし残額が残っている場合は通常の贈与税の課税対象となりますのでご注意ください。

この制度は、3年間の特例ですので、相続対策として生前贈与を検討されておられる方は、早めにご検討されてはいかがでしょうか？

お客様訪問日記

～ 毎月巡回監査で訪問しているお客様をご紹介します～

今回のお客様は パッションワイン小仲酒店 様です

ご協力ありがとうございました！【巡回監査担当：松丸 直也】

今月は松丸が担当させていただいているパッションワイン小仲酒店様をご紹介します。パッションワイン小仲酒店様は京都市にてワイン専門店を運営されています。ワインの輸入が自由化されて間もない1973年に創業されました。



戦後の日本では生葡萄酒(キブドウシュ)という名前でワインが生産されていましたが、その味は酸っぱく、甘みがありませんでした。そこで当時、日本人には好まれていなかった味をサントリーの前身「寿屋」が甘みのあるポートワインとして広めていました。しかし、小仲さんはポートワインではなく生葡萄酒の味に魅せられて、この味を広めたいと創業を決意されました。小仲さんは、「人に幸福感と健康を“食”でアシストしたい。それだけです。」と40年間変わらぬ事業意欲をみせています。



巡回監査で店舗にお伺いした時、ワインの品揃えにいつも驚かされます。フランスワインを中心とした品揃ですが、ロワール地方などマイナーな地方の良品も集結させておられます。初心者からワイン愛好家まで満足すること間違いなしです。ワインについての質問を一度投げかけると、ワインの作り方や地方の特性、ビンの形状、保存の仕方、、等々あふれんばかりの情報をもらうことができます。ワインの話をしている小仲さんはいつも活き活きされており、非常に魅力的です。

『色々なワインがたくさんあります』

「お客さんにより、味の捉え方が異なるため、ワインに対する考え方や想いを理解してもらうのに時間がかかります。ワインの試飲を繰り返しながら、自分の主張をしすぎないようにお客さんにあったワインを選定します。お客さんに信頼されるように、じっくりと時間をかけて、ワインに対する想いを伝えて行きたいです。」と、ワインに対する想いを情熱的にお客さんに伝えていきたいと言う小仲さん。



小仲さんの提供するワインはまさしく、パッションワインです。良質のワインは、小仲さんの手にかかるとなおさら美味しくなります。ワインが大好きな方や贈答品等をお考えの方は、一度小仲さんにご相談されてはいかがでしょうか。



『小仲様と奥様です』

～パッションワイン小仲酒店～

住所: 〒603-8247

京都府京都市北区紫野泉堂町4

電話: 075-491-3606

営業時間: AM 6:00 ~ PM 20:00

URL: http://www.passion-wine.com/system/shop/shop_index.cgi

今月の「ほっと一息」は7か月ぶりに有留が担当させていただきます。

最近はお休みの日でも、部屋にひきこもってばかりでしたので、「何か新しい事を始めたい」という思いから、先日初めて陶芸に挑戦しました。

実は、私の母は大阪府南部にある泉南市で陶芸の先生をしています。「陶芸を教えてください」と母に言った時は、少し驚いているようでした。



『初作品のコーヒーカップ』

陶芸といっても作り方は二種類あり、「手びねり」といって粘土遊びのように自分の手だけで形を作るものと、「ろくろ」という機械を使って、粘土をまわしながら形を作るものがあります。

土でどろどろになるからと、母が用意していた割烹着と汚れてもいいスリッパを履いて「ろくろ」を体験しました。

「ろくろ」の基本は、腕から手先を常に固定すること。なんです、ほんの少しでも軸がずれて固定できていなかったり、ろくろを回す速さが遅かったりすると形が崩れるとても繊細な作業です。

陶芸は自分の気持ちが素直にでるらしく、気分がイライラしている時や落ち込んでいる時は、あまり良い作品ができなかつたりするようです。

今までは、体を動かしながらリフレッシュする事が多かったのですが、陶芸のようにこうして気持ちを落ち着かせる事で、初めてリフレッシュできたような気がします。



『いつになく真剣』

南船場から♪

今回の「南船場から」は吉田が担当させていただきます。事務所通信等でもお知らせしたとおり上田税理士事務所は4月に事務所を移転します。

ということで今後は同じ「南船場から」でも、南船場4丁目から南船場3丁目へと話題の中心が変わることになりそうです。

さて、御堂筋を挟んで東西反対側に位置するこの二つの街ですが、同じ南船場でもずいぶん雰囲気異なるようです。旧事務所のある4丁目は、アパレルやら飲食店をはじめとする比較的小規模な建物が立ち並びちょっとおしゃれな感じのする街でしたが、新事務所の位置する3丁目は、心齋橋筋商店街、東急ハンズなど商業施設も多い半面、大きなビルが立ち並びオフィス街という面もあります。

そして、今回我々が事務所を構える出光ナガホリビル。1階部分がガソリンスタンドなので、皆さまお越しの際はとて分かりやすいかと思います。

ガソリンスタンドの近くはちょっと心配だという意見もありましたが、「ガソリンが引火したくらいではビクともしません!」というビルからの説明でスタッフ一同安心して業務に打ち込むことができそうです。



編集後記

最近、事務所の移転や税理士吉田の誕生など、色々な出来事がありました。それに加え、先月新しいメンバーが上田税理士事務所に加わりました。次回の事務所通信で、本人のご挨拶とともに、ご紹介させていただきます。是非、お楽しみに。

4月になり、ようやく暖かくなってきましたが、朝晩はまだまだ冷え込むことも多いようなので、体調にはくれぐれもお気をつけ下さい。



上田税理士事務所

〒542-0081
大阪市中央区南船場3 4 26
出光ナガホリビル7階

TEL 06(6253)5885
FAX 06(6253)7557
E-mail info@zh-beruf.com

* 毎月15日に、経営に役立つ情報満載のメルマガを配信しています。ご希望の方は、ホームページから登録頂くか、巡回監査担当者にご連絡下さい。

是非、ホームページもご覧ください。http://www.zh-beruf.com

お読みいただきありがとうございました。